

# 令和7年度 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産地域連絡会議

アマミノクロウサギと  
共生できる集落を目指して

令和8年1月29日  
徳之島 天城町



# 徳之島・天城町の概要

## 【徳之島】

- 面積248km<sup>2</sup>、周囲約80km
- 主要産業は農業(サトウキビ、バレイショ、畜産、熱帯果樹)
- 耕地面積は奄美群島最大
- 年間平均気温:23.5°C(令和6年度)
- 温暖多雨の亜熱帯性気候
- 令和3年7月 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島  
世界自然遺産登録

## 【天城町】

- 人口と世帯数(令和8年1月1日現在)  
人口:5,396人 世帯数:3,080世帯
- 島の玄関口である徳之島子宝空港と平土野港がある。
- スポーツ合宿が盛ん。
- 令和6年 ベストツーリズムビレッジ認定



# 天城町・当部集落の概要

- 奄美群島国立公園区域に囲まれた山あいの集落
- 約30世帯・50名ほどが暮らす天城町内で最も小規模な集落
- 名水・東又泉に代表される自然豊かな集落
- 集落内にアマミノクロウサギが出没する“クロウサギの里”



# 当部集落を取り巻く変化

- 奄美群島国立公園指定(平成29年)
- 茶処あがりまたオープン(平成29年)
- 世界自然遺産登録(令和3年)
- 町営住宅「アトリエ・ハウスinTOVE」完成(令和4年)
- ベストツーリズムビレッジ認定(令和6年)



- 移住者の増加
- 来訪客の増加
- 当部集落への注目度UP



# 夜間の来訪者の増加

- アマミノクロウサギの生息域拡大
- 希少野生動物への関心の高まり



- 動物観察などを目的に夜間の来訪客が増加傾向
- 住民生活・希少動物への影響が懸念



41

アマミノクロウサギ観察を目的に訪れる方が増加傾向  
(観察小屋に設置されたクロウサギ観察用カメラの映像より)

# 集落住民やクロウサギへの影響

- ・ロードキルや私有地への立ち入り
- ・深夜帯の人や車の往来



集落住民の生活やクロウサギの生息環境への影響を危惧する声



- ・町ホームページ等で観察マナーの周知
- ・普及啓発イベント(観察マナー向上、ロードキル対策)の実施 等

アマミノクロウサギを観察するときの5つの約束

- とらないで！自然はそのままに。
- くるまのスピードはおさえましょう。
- のこさないで！ゴミは持ち帰ろう。
- しづかに観察。騒かさないでね。
- まぶしい光は避けましょう。

集落内にウサギが出る可能性があります。夜間は車のスピードを20km/h以下にして、ゆっくり走るようにしましょう。集落の方々の生活に配慮し、私有地には立入らないようにしましょう。



# 当部集落の挑戦～クロウサギの里当部共生プロジェクト～

ワークショップや勉強会の開催

→地域住民が残していくたい地域のタカラモノを明確化、

地域が目指すビジョンをまとめる

→集落散策やクロウサギ観察の際に守ってもらいたいマナーを検討

→地域が目指すビジョンやマナーを発信するため集落ブランドブックを  
制作予定(R8)



# 写真展「わが家の客はクロウサギ」

- ・当部集落の民家の庭先に現れるアマミノクロウサギをテーマとした写真展
- ・地元団体「森と海の藝術樂校」が協力
- ・過去2回開催  
(R5は天城町役場1階町民ホール、R6は鹿児島県庁2階県民ホール)
- ・第3弾として東京・新宿御苑インフォメーションセンターで開催(R7.12.20~21)  
→「世界遺産の島づくり」と題したトークイベントも同時開催



ご静聴ありがとうございました。

